

R5 放課後等補充学習の取組

伊万里市立南波多郷学館

取組の実際

参加対象について

夏休みに入る時期に、9年生の保護者宛てにメールとプリント（右資料）で補充学習のお知らせを行い、参加者を募りました。
課業日は、実施当日の朝に参加者の確認をしています。

実施日等

夏休みから補充学習を開始しています。実施時間は2～2.5時間でした。
課業日は、原則火曜日に数学、金曜日に英語の学習をしています。
実施時間は1～2時間で、放課後の教室を活用しています。

指導員について

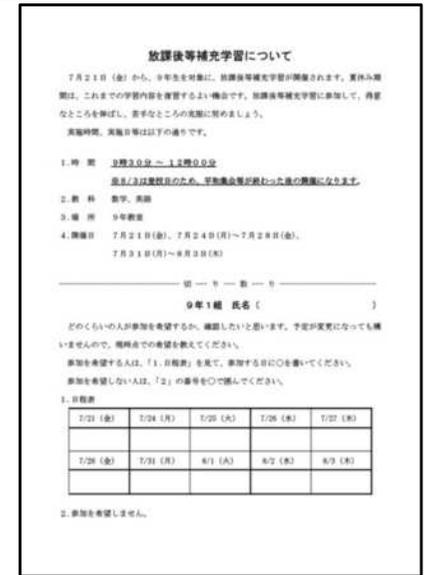
地元の塾経営の方に指導員をお願いしています。この指導員は、以前、学校ボランティアとして教育活動に参加されており、地域コーディネーターから補充学習の取組について話を聞き、学習で困り感をもつ子どもを支援したいという思いから引き受けられています。

工夫していること

学習で使用するプリントを授業の進度に合わせて指導員が準備しており、参加の生徒においては授業内容の復習やつまづいている課題の解決につながっています。

成果について

この取組をきっかけに、職員室前の学習スペースを活用して先生に質問をする生徒が増えてきており、学校全体で自主的に学ぼうとする雰囲気が高まっています。



【保護者宛てプリント】

写真中央で生徒の質問に答えている方が指導員です。生徒は、自席で用意されたプリントに取り組んでいます。

